

仕様書

音声調整卓のファイナンスリース

Finance lease of Digital Audio Mixing Console

1. 目的

放送大学学園で運用しているラジオスタジオ、テレビスタジオ及び音声編集室の音声調整卓(ミキシングコンソール)を更新し、安定した番組制作設備の維持管理を継続する。

2. 契約形態等

(1) 6年間(72ヶ月)の賃貸借契約とする。

契約期間は、運用開始予定日の2020年3月23日から2026年3月22日までを予定している。

(2) 賃貸借契約が満了した時点でリースを終了し、再リースの要否を決定する。

3. 仕様書の適用範囲

本仕様書は、放送大学学園(以下、「甲」という。)が更新する音声調整卓(以下「システム」という。)に関して、賃貸業者(以下、「乙」という。)が行う全ての事項に適用する。

「乙」は、本仕様書に掲示した機器類を「甲」の担当課(放送部技術・運行課:以下「担当課」という。)が指定する場所に搬入・設置し、副調整室の既存システム(各系統図参照)との接続・調整、総合試験及び動作確認を行なった上で、「甲」の使用に供するものとする。

4. システムを構成する主な機器の内訳と数量

(1) RA/RB/音声編集室	音声調整卓	3式
(2) 制作テレビスタジオ	音声調整卓	1式
(3) RA/RB	音声調整卓・機器収納操作卓	2式

*内訳の詳細は、15. 調達品及び別添の操作卓図面を参照すること。

5. 納入期限及び設置場所

(1) 納入期限 2020年3月19日(木)

期日までに機器の搬入、設置・接続工事を行い、システムの動作確認等を完了すること。また、担当課及び「甲」が別途契約している番組制作の運行に係る者に対して、システムの操作に関する訓練を完了し、運用開始日からシステムを円滑に運用できるようにすること。

訓練の日程と回数は、「乙」と担当課が別途協議して決定する。

(2) 作業期間

スタジオ使用日程の都合上、2月29日(土)から3月19日(木)までの土曜日と日曜日を含む期間とする。

具体的な日程は、「乙」と担当課が別途協議して決定する。

(3) 設置場所

千葉市美浜区若葉2-11 放送大学学園

4. (1) 及び (3) : 制作棟3階 RA・RBスタジオ/音声編集室
4. (2) : 放送研究棟 2階 制作テレビスタジオ

6. 契約範囲及び注意事項

本件の契約者は、本仕様書及び関連規格等に定める規定に準拠し、以下の機器調達及び作業等を完全に遂行しなければならない。

- (1) システムは、入札時点で既に製品化されており、放送局等で運用実績がある機器で構成されること。
(2) システムの設置、接続、調整等を行う者は、一般社団法人電波産業会 (ARIB) 会員であって、過去3年間に放送局等へ同様の納入実績を有し、発注者から契約の中途解約等がなく、納入したものが発注者側の業務に影響を与えず、問題なく運用されていること。
(3) システムを構成する機器の調達と搬入、据付、布線接続、端末処理を行うこと。
(4) 既存システムとの接続、調整により全体システムに問題が生じないこと。
(5) 指定する機器類、配線を撤去すること。
(6) DAW等の既存システム、周辺機器類との接続、動作確認を行うこと。
(7) 総合動作試験及び調整を行うこと。
(8) その他、関連する作業全てを行うこと。
(9) 本件により不要となる機器等を適切な作業を行って撤去し、指定場所に移すこと。

7. 構築環境等

本件に必要な機器、部材、工具、消耗品等の準備及び構築環境は、全て「乙」が手配すること。

8. 権利の所屬について

本システムの所有権は「乙」に帰属し、その使用权は「甲」が有する。

9. 設置等に関する留意事項

(1) 設置上の注意

- ①機器等の搬入については、現状を十分調査するとともに、搬入作業が安全かつ迅速に実施できるよう万全を期すこと。また、搬入日時については、「乙」と担当課で協議して決定すること。
②据付等の作業に当たっては、十分な経験と技能を有する作業者を配員すること。また、実施体制と責任を明確にし、作業期間中は、現場監督を常駐させること。
(2) 学園内の既設機器や設備等の改修、配線の変更等が必要となる場合には、事前に担当課と協議すること。

10. 提出物について

(1) 入札時に提出が必要なもの

- ①システム完成後のRA・RBスタジオ、音声編集室、制作スタジオの音声系統、ラック収納、操作卓収納の各予定図
- ②提案する各機器の詳細内容を示すカタログ、仕様記述文書等

(2) 契約締結後に提出が必要なもの

契約締結後、速やかに「乙」は「甲」の担当課（放送部技術・運行課）と打ち合わせの上、以下の書類を提出すること。

なお、提出した書類に変更が生じた場合には、速やかに「甲」の担当課に報告を行い、その内容を反映した新たな書類を提出すること。

- ①スケジュール
- ②実施体制及び現場監督者（安全管理者）、並びに作業者一覧
- ③既設システムを含めたシステム完成後の音声系統図、ラック・ミニラック収納図及び操作卓収納図等
- ④その他、「甲」が依頼する書類

(3) 完成図書等

- ①系統図、機器一覧、取扱説明書等を含む完成図書（差替え可能な綴じ方であること）3部とCD-ROMデータ1部
- ②ケース付き現場用音声系統図(A1版) 各1部
- ③各スタジオ用の操作手順書 各1部

11. 関係法令等の遵守

「乙」は、本件の実施に適用される関係法令等を遵守し、適切かつ円滑に遂行すること。

12. 賠償・復旧

設計上の不具合やバグ等の欠陥が生じた場合には、「乙」が無償でその改修とシステムの調整を迅速に行うこと。

13. 運用サポート及びメンテナンス等

- (1) 番組制作に支障が無いよう万全を期すため、「乙」は担当課及び「甲」が別途契約している番組制作の運行に係る者に対してシステムの運用に係わる技術的な指導や支援を適宜行うこと。
- (2) システム運用開始から1年間、「乙」はシステム機能は無償で保障すること。
2年目以降の保証については、別途協議して決定するものとする。
- (3) システム運用開始から1年後、「乙」はシステムの無償点検を行うこと。このとき発見された不良箇所については、「乙」が無償で修復すること。
無償点検の実施日及び修復日は、担当課と協議して決定すること。
- (4) 迅速で十分なアフターサービス、メンテナンス6年間提供すること。そのための体制を確立し、窓口を設けること。

14. その他

- (1) システムの機能追加、機器類の取替え又は改造を必要とするときは、「甲」が書面により「乙」と協議を行うものとする。
- (2) 本件で発生する機器等の搬入、搬出、撤去に係る費用は、「乙」の負担とする。
- (3) 本仕様書に記載が無い事項であっても、必要と認められる事項に関しては、「乙」と担当者と協議して実施する。

15. 調達品

(1) 音声調整卓

①RA/RB/音声編集室

名称	仕様	数量
音声調整卓	DM2000 VCM	3式
メーターブリッジ	MB2000	3式
デジタル入出力カード	MY8-AE96S (4枚×3式)	12式
アナログ入出力カード	MY8-AD24 (1枚×3式)	3式
アナログ音声分配器	ステレオ8分配出力	3式
多機能ラウドネスメーター	AM-3807-A 相当品	2式
サンプリングレートコンバーター(SRC)	44.1→48kHz 16bit CD6台分	1式

②制作テレビスタジオ

名称	仕様	数量
音声調整卓20フェーダー	NT-660 20フェーダー仕様	1式
20ch Console Leg		1式
Meter Panel	TU-6422	1式
Touch Panel	TU-6423	1式
Encoder Panel	TU-6424	1式
Fader Panel	TU-6425	2式
Center Panel	TU-6426	1式
Router	TS-9713	2式
DSP Core	TS-9714	1式
I/O Frame	TS-9715	1式
TrNet IF Card	TU-6400	2式
8ch Dsub MIC/LINE IN Card	TU-6401	2式
8ch BNC AES3 IN Card	TU-6403	3式
8ch Dsub LINE OUT Card	TU-6404	3式
8ch BNC AES3 OUT Card	TU-6405	3式
16ch BNC Rear Panel	TZ-3011	3式
I/O Rear Blank	TZ-3013	6式

ミニラック	周辺機器収納 FLN50-607E または同等品	1式
SCENARIO TABLE	TZ-3024	1式
TOP TABLE		1式
FAN UNIT	TS-9716	1式
多機能ラウドネスメーター	AM-3807-A 相当品	1式
GPIO CARD	TU-6406	1式
GPIO CN Rear Panel	TZ-3010	1式
HD-SDI CARD	TU-6418	1式

③その他

名称	仕様	数量
操作卓(音声卓・機器収納)	別紙仕様参照 RA/RB DM-2000VCM 用	2式
VU計	AES対応 2U	4式
メーター収納箱	19インチ2U (VU/ラウドネス/ピーク)	1式
ラウドネス/ピークメーター連結	ハーフサイズ連結	4式
工事部材		1式

16. 支給品

名称	仕様	数量
デジタル入出力カード	MY8-AE96S	5式
アナログ入出力カード	MY8-AD24	4式
ラウドネスメーター	ハーフサイズ(制作スタジオ用)	1式
ピークメーター	ハーフサイズ	4式
インピーダンス変換器	75Ω→110Ω 110Ω→75Ω	必要量

17. 撤去機器・作業等(各系統図参照)

(1) RA・RBスタジオ

- ①アナログ ADA1-1~1-9、2-1~2-7 撤去、ADA スルーし1回線接続
- ②MD/CD/TR1/TT1/DAT/MO/PCM91/DD2/REAL-Q2/COMPの機器・配線撤去
- ③新調達アナログADAを1-7・1-8に等充、接続
- ④既存周辺機器、Pro Tools システムへ接続、調整、動作確認
- ⑤旧操作卓収納機器類の新操作卓への移設
- ⑥山武スイッチボタン移設(VU計が 1U または 1U ブランクパネル加工)
 - ・RAのVU計切り替えリモート、FU表示、REC表示
 - ・RBのFU表示、REC表示
- ⑦アナログ、デジタルジャック盤変更、整理
- ⑧新規、変更等の丸札付け替え、表示
- ⑨その他を含め、詳細は打ち合わせで決定

(2) 音声編集室

- ①アナログ ADA1-1~1-9、2-1~2-6 撤去、ADA スルーし 1 回線接続
- ②アナログ、デジタル変換 A/D1-1~1-10 の撤去
- ③カセット/MD/CD/TR/TT/COMPの機器・配線撤去
- ④CD-RW901SL 6台のデジタル IN/OUT を AES MATRIX に接続
- ⑤新調達アナログ ADA を 2-3・2-4 に等充、接続
- ⑥旧操作卓収納機器類の新操作卓への移設
- ⑦既存周辺機器、Pro Tools システムへ接続、調整、動作確認
- ⑧アナログ、デジタルジャック盤変更、整理
- ⑨新規、変更等の丸札付け替え、表示
- ⑩その他を含め、詳細は打ち合わせで決定

(3) 制作スタジオ

- ①NT-660 制御部・関連ユニット類は、既設ラック 10U 以内に収納
- ②調達ミニラックに既設 DBMAX/CF/ルティングスイッチャリモパ 等を収納、接続
- ③GPIO システムで REC タリ—ON/OFF 回路を構成
- ④既存周辺機器へ接続、調整、動作確認
- ⑤アナログ、デジタルジャック盤変更、整理
- ⑥新規、変更等の丸札付け替え、表示
- ⑦その他を含め、詳細は打ち合わせで決定

(4) DM2000 VCM 3式のレベル変更

音声アナログ入出力最大ノンクリップレベルを学園の DAW システムに合わせて +24dBu に改修し、各ラジオスタジオのレベルダイヤをあわせること。

18. 承認事項等

「乙」は「甲」に次の書類及び図面等を各3部提出して承認を得るものとする。

- (1) 装置の仕様書、系統図、接続図、外観図、定数表、付属品一覧表
- (2) 装置の配置図、配線図
- (3) 主要部品の仕様、規格表
- (4) 工程表
- (5) 工事設計図、施工要領書
- (6) その他必要と認めるもの

19. 取扱説明書

- (1) 各ハードウェア・ソフトウェアについて、提供可能な全ての日本語マニュアルを提供すること。提供部数は、冊子3部及び CD-ROM データ 1部とする。
- (2) 日常運用で使用する簡易取扱・手順書を作成し、各スタジオと音声編集室に各1部提供すること。